



今週のPOINT

国内株式市場

スペースX上場後の米国株の行方や日米金融政策などが注目点に

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

東京エレクトロン【プライム 8035】ほか

テーマ別分析

人手不足時代の有望テーマ、省人化関連を探る

話題のレポート

トレンドフォロワー戦略で注目の銘柄

スクリーニング分析

キャッシュリッチなプライム市場銘柄

日銀の利上げや株主総会接近で関心向かう

| | | | | | | |
|---|-----------|------------------------|-------------------------------|----------------------|----|--|
| 1 | 今週の市場見通し | 国内株式市場 | マーケット概観 | 3 | | |
| | | | 新興市場 | 4 | | |
| | | 米国株式市場 | | 5 | | |
| | | 為替市場 | 米ドル/円予想レンジ | 6 | | |
| | | 債券市場 | 債券先物・長期国債利回り予想レンジ | 6 | | |
| | | | | | | |
| 2 | マーケットを読む | 今週のポイント | | 7 | | |
| | | 日経平均株価 | | 8 | | |
| 3 | 今週の分析銘柄 | FISCO Selection | インフキュリオン 〈438A〉 グロース | 9 | | |
| | | | トレジャー・ファクトリー 〈3093〉 プライム | 10 | | |
| | | | 物語コーポレーション 〈3097〉 プライム | 11 | | |
| | | | 帝人 〈3401〉 プライム | 12 | | |
| | | | SOLIZE Holdings 〈5871〉 スタンダード | 13 | | |
| | | | メイコー 〈6787〉 プライム | 14 | | |
| | | | アズビル 〈6845〉 プライム | 15 | | |
| | | | 東京エレクトロン 〈8035〉 プライム | 16 | | |
| | | | | | | |
| | | | 読者の気になる銘柄 | キオクシアHD 〈285A〉 プライム | 17 | |
| | | | | ANYCOLOR 〈5032〉 プライム | 17 | |
| | | | | | | |
| | テクニカル妙味銘柄 | 栗本鐵工所 〈5602〉 プライム | 18 | | | |
| | | 大和証券グループ本社 〈8601〉 プライム | 18 | | | |
| 4 | カテゴリー考察 | テーマ別分析 | | 19 | | |
| | | スクリーニング分析 | | 20 | | |
| | | 先週の話題レポート | | 21 | | |
| | | 信用需給動向 | | 22 | | |
| 5 | 連載コラム | | | 23 | | |

スペース X 上場後の米国株の行方や日米金融政策などが注目点に

■週初急落から週末にかけ一時切り返す場面も

先週の日経平均は前週末比 568.08 円安（-0.9%）の 66020.04 円で取引を終了した。週初は 2563 円の大幅下落、今年 2 番目、史上 5 番目の下げ幅を記録した。前週末の米国市場では、雇用統計が予想以上の上振れとなったことで利上げ観測が高まり、半導体株指数（SOX 指数）が 10%強の急落。週明けの東京市場でも、人工知能（AI）・半導体関連株に売りが波及し、指数を大きく押し下げることとなった。AI 関連株に対する過熱警戒感の強まりなども反映される形になったとみられる。

その後も、AI 関連株の戻りが鈍い状況が続いたほか、中東情勢の緊張感の高まり、日銀の 6 月利上げ観測の強まりなどから日経平均の調整が続き、11 日には一時 62335 円まで下落する展開となった。ただ、11 日は安値から 1881 円高と切り返す形で取引を終え、週末も一時 2848 円高と 67000 円台まで上昇する場面があった。AI・半導体関連株に対する押し目買い意欲の強さが改めて意識される状況になった。なお、週末は、トランプ米大統領がイランとの戦闘終結に向けた合意が数日以内に最終決定に至るとの見通しを示したことが買い材料視された。

■スペース X 上場後の相場展開見極めへ

先週末の米国株式市場は上昇。ダウ平均は前日比 353.51 ドル高の 51202.26 ドル、ナスダックは同 79.18 ポイント高の 25888.84 で取引を終了した。225 ナイト・セッションは日中終値比 1320 円高の 67440 円。スペース X の上場で投資家心理が改善したほか、パキスタン首相がイラン和平合意の文書がまとまったことを明らかにし、株式市場の押し上げ材料となった。

先週末の米国市場でスペース X が新規上場。初日の取引は公募価格を約 19%上回る順調な出足となり、マーケット全般のプラス材料につながった印象だ。今後、MSCI では上場後 10 営業日で早期組み入れを行う方針としているほか、ナスダック 100 は 15 営業日で指数に反映されるもよう。他銘柄の換金売り圧力は引き続き警戒される。アクティブファンドでもリバランスが強まるとみられ、その際には、ここまで上昇が続いてきた AI・半導体関連銘柄が乗り換えの対象になりやすいとみられよう。一方、グロース市場の宇宙関連銘柄は総じて調整一巡感も意識され、スペース X 上場とともに再度上値追いつ勢を強めてくれれば、プライム市場の宇宙関連にも波及効果が期待できる。

3 月末比で日経平均は 29.3%の大幅上昇となっているが、この期間、プライム市場のほぼ半数近い銘柄はマイナスパフォーマンスとなっている。AI 関連株一極集中の流れが続いている間、こうした銘柄はリバランス売りの対象となり、出遅れ感が顕著となっている状況だ。ただ、長期的な視野で見れば、このような出遅れ銘柄は格好の押し目買いチャンスとも受け止め

られる。先行き予断を許さない中東情勢ではあるが、状況の改善は一極集中相場是正のきっかけにつながるとも考えられ、徐々に出遅れ銘柄への関心を高めていくべきであろう。

■日米金融政策会合ともに総裁や議長の会見内容が注目

今週は日米で金融政策イベントが開催される。15-16 日に開催される日銀金融政策決定会合では、追加利上げの実施がほぼ確実視される状況となっている。会合後には、植田総裁が入院中のため、内田副総裁が会見予定。「政策決定のキーマン」ともされるが、植田総裁不在の中では、金融政策の先行きを示すような会見内容にはならないとみられ、サプライズにはつながりにくいと考えられる。金融関連株にも短期的な出尽くし感が先行しそうだ。なお、タカ派色が強まらない限りは、為替相場は円安に向かう可能性が高いが、その際には、介入が実施されるとの思惑も強まるだろう。

16 日から 17 日にかけて開催される米連邦公開市場委員会（FOMC）では、政策金利の据え置きが想定されているが、ウォーシュ新連邦準備制度理事会（FRB）議長のもとで初めての開催となる点が注目される。会見内容がハト派なのかタカ派なのか、トランプ大統領への付度の有無が意識されてくるかなど焦点となる。パウエル議長と比較すると早めの対応を志向する可能性なども指摘されており、そうした見方が強まるようであれば、早期の利上げ観測が強まることになろう。なお、今週は日米ともに目立った決算発表はないが、来週には米国でマイクロンの決算発表が予定されている。

■日米で中銀イベントが開催予定

今週、国内では、15 日に 4 月第三次産業活動指数、17 日に 4 月機械受注、5 月貿易統計、5 月訪日外客数、18 日に 5 月首都圏新築マンション発売、19 日に 5 月消費者物価指数、4 月 27-28 日開催の日銀金融政策決定会合議事要旨が発表される。なお、15 日から 16 日にかけて日銀金融政策決定会合が開催され、16 日には内田日銀副総裁の会見が行われる。

海外では、15 日に欧・4 月ユーロ圏鉱工業生産、4 月ユーロ圏貿易収支、米・5 月鉱工業生産・設備稼働率、6 月 NY 連銀製造業景気指数、6 月住宅市場指数、16 日に中・5 月小売売上高、5 月鉱工業生産、5 月都市部固定資産投資、独・6 月 ZEW 景況感指数、米・5 月輸出入物価指数、5 月住宅着工件数・建設許可件数、6 月 NY 連銀ビジネスリーダーズサーベイ、17 日に米・5 月小売売上高、5 月中古住宅販売成約指数、18 日に米・4 月対米証券投資、6 月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、新規失業保険申請件数などが発表される。ほか、16 日から 17 日にかけて FOMC が開催され、17 日にはウォーシュ FRB 議長の会見が行われる。なお、19 日はジュンティーンズデーのため米国市場は休場となる。

生成 AI 株反騰で地合い改善、日銀利上げなら悪材料出尽くし感も

■信用取引勢による短期トレード活発化へ

今週の新興市場はプライム市場の生成 AI 関連銘柄の反騰に乗り、相場全体の地合い改善が予想される。QD レーザ<6613>、データセクション<3905>といった半導体や生成 AI 関連銘柄を中心に、信用取引勢による短期トレードが活発化しよう。例年より 1 カ月遅れの 7 月発表が見込まれる「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」では防衛費増強が盛り込まれることから、Terra Drone<278A>などドローン関連株の人気復活も予想される。一方、先週末に売買代金首位で続出したアストロスケールホールディングス<186A>は、米スペース X 上場を通過したことで目先の好材料出尽くし感から人気離散が警戒される。

日本銀行は 15-16 日に金融政策決定会合を開催し、16 日東証前引け以降に結果が発表予定となっている。市場では、政策金利の 1.00%（現行 0.75%）への引き上げが織り込まれており、利上げ発表後は悪材料出尽くしと受け止められよう。また、仮に利上げ見送りとなれば、日銀は利上げに慎重だとの見方が強まり、新興株市場の強い追い風となりそうだ。

今週は、16 日にタクシー配車アプリ大手の GO<581A>がグロス市場に上場する。8 日に発表された売り出し価格は、仮条件上限の 1 株 2400 円。売り出し価格ベースで時価総額 1864 億円と今年最大の IPO となる見通し。4 月 24 日の梅乃宿酒造<559A>以来の IPO であり、初物人気予想される。GO の後は、23 日に金融機関向けシステムの LiNKX（リンクス）<584A>、30 日に子ども向け体操教室や放課後デイサービス施設を運営するネイス<589A>がそれぞれ上場する。なお、東証は 11 日、チャットプラス<598A>のグロス市場への上場を承認した。上場予定日は 7 月 15 日。チャットによる顧客対応システムを開発し、AI 関連銘柄として関心を集めそうだ。

東証グロス市場 250 指数



データセクション<3905>



TERRADRONE<278A>



中東和平交渉合意の有無、新議長下での FOMC など注目点/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

先週の米国株は反発。騰落率は、NY ダウが+0.66%、ナスダックが+0.70%、S&P500が+0.65%。週初は中東和平合意期待が高まったものの、雇用統計の上振れを受けた利上げ懸念が重しとなった。週中にかけては、消費者物価指数 (CPI) 加速によるインフレ高止まり懸念、トランプ大統領がイラン再攻撃を警告したことによる中東情勢悪化懸念で軟化。ただ、週後半にかけては切り返す流れとなった。トランプ大統領がイランとの交渉進展を理由に攻撃中止や和平合意間近と発表し、イラン戦争の終結期待が高まった。週末には、パキスタン首相がイラン和平合意の文書がまとまったことを明らかにし原油相場も下落、さらに、大型 IPO スペース X の堅調推移なども株式市場に安心感をもたらした。

個別では、マーベルは、S&P 総合 500 種指数の構成銘柄への採用が発表されて買われた。コーニングは、アマゾンと数十億ドル規模の契約を締結したと発表し上昇。インテルは、グーグルが AI 半導体製造を一部委託するとの報道を好感。イーライ・リリーは、次世代肥満治療薬を巡る優位性が確認されたため上昇。スターバックスやサラダレストランチェーンのスイートグリーンは、肥満治療薬の需要拡大にちなんだ恩恵を受けると指摘されて、それぞれ上昇。コアウィーブやテラダインは、ナスダックが 100 指数構成銘柄への採用を発表してそれぞれ上昇した。モルガン・スタンレーやゴールドマン・サックスは、大規模な IPO を巡る手数料収入の増加を期待し買われた。スペース X がナスダック市場に上場、初値は IPO 価格を 11% 上回る好調なスタートに。

一方、コーニングとの大型契約を締結したアマゾンは下落。アップルは年次開発者会議で AI 強化版の「Siri AI」を発表したが、ユーロ圏での提供が規制の影響で延期されるなど、評価がまちまちで上値は重い。タイソン・フーズは、国内で新大陸ラセンウジバエが発見されたことが懸念材料に。エクソンモービルやシェブロンは、原油安に連れそれぞれ下落。フェデックスは、アマゾンが小口貨物輸送サービスの拡大を発表したため競争激化が懸念された。スーパー・マイクロは、AI 需要対処で 70 億ドル規模の資本増資計画を発表し下落。不動産ウェブサイト運営のジロー・グループは、グーグルによる住宅物件広告サービス開始で競争激化懸念。決算を発表したオラクルは、AI 投資拡大を警戒する動きが先行した。アドビは利益が予想を上回ったが、CFO が退任を発表するなど見通しに不透明感が広がり売り優勢。レナーは通期見通し下方修正で下落した。

■今週の見通し

スペース X の初日取引は公募価格を約 19% 上回る 160.95 ドルで終え、順調な出足となってマーケットの安心材料につながった。時価総額は米国企業の中で一気に第 6 位の水準となっている。一時 176 ドル台にまで上昇した後は伸び悩みなど穏便なスタートだった印象もあり、短期的な株価波乱への懸念も乏しいだろう。一方、前例のない規模の大型上場となり、当面は市場全体へのインパクトを注視したい。今後、MSCI では上場後 10 営業日で早期組み入れを行う方針としているほか、ナスダック 100 は 15 営業日で指数に反映されるもよう。他銘柄の換金売り圧力は引き続き警戒される。アクティブファンドでもリバランスが強まるとみられ、その際には、ここまで上昇が続いてきた AI・半導体関連銘柄が乗り換えの対象になりやすいと考えられる。

イランのアッバス外相は先週末、戦闘終結に向けた米国との合意が間近で、その内容にはホルムズ海峡の再開が含まれていると述べている。これまで以上に楽観的な方向となっているが、その分、はしごを外された場合のインパクトは強まる余地に注意。また、中東情勢の改善は、AI 関連株から出遅れ銘柄への資金シフトを促す可能性にも留意したい。16 日から 17 日にかけて開催される連邦公開市場委員会 (FOMC) では、政策金利の据え置きが想定されているが、ウォーシュ新連邦準備制度理事会 (FRB) 議長のもとで初めての開催となる点から、会見内容がハト派なのかタカ派なのか、トランプ大統領への忖度の有無が意識されてくるかなどが焦点となってこよう。なお、パウエル議長と比較すると早めの対応を志向する可能性なども指摘されており、そうした見方が強まるようであれば、早期の利上げ観測が強まることにもなる。

経済指標は、15 日に 5 月鉱工業生産・設備稼働率、6 月 NY 連銀製造業景気指数、6 月住宅市場指数、16 日に 5 月輸出入物価指数、5 月住宅着工件数・建設許可件数、6 月 NY 連銀ビジネスリーダーズサーベイ、17 日に 5 月小売売上高、5 月中古住宅販売成約指数、18 日に 4 月対米証券投資、6 月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、新規失業保険申請件数などが発表される。ほか、16 日から 17 日にかけて FOMC が開催され、17 日にはウォーシュ FRB 議長の会見が行われる。なお、19 日はジュンティーンズデーのため休場となる。

決算発表は、15 日にギャノピー、ドーモ、ディブ&バスターズ、17 日にカーマックス、スミス&ウェッソン、18 日にアクセンチュア、クローガーが予定されている。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

154.00 円 ~ 162.00 円

今週の米ドル・円は伸び悩みか。日銀金融政策決定会合と米連邦公開市場委員会 (FOMC) を受け、161 円を目指す展開。ただ、日本の為替介入が警戒され、上値の重さが目立ちそう。15-16 日開催予定の日銀金融政策決定会合では、0.25%の政策金利引き上げが見込まれる。年内に追加利上げを示唆する見通しだが、すでに市場は織り込み済み。植田総裁は入院治療のため欠席で、タカ派的なメッセージは発信しにくい。米連邦準備制度理事会 (FRB) は 16-17 日開催予定の FOMC で、政策金利据え置きを公算。ただ、声明や議長会見では、インフレ圧力を背景に年内利上げが示唆される可能性がある。その際にはドル買い優勢となり、ドル・円は 161 円を目指す展開に。ドル・円は 4 月 30 日に介入が実施された際の 160 円 72 銭が視野に入っている。政府は 24 年に 160 円台、161 円台で介入に踏み切った経緯があり、現行水準では介入が強く意識される展開が続くだろう。もっとも、実弾介入により 4-5 円急落しても、米国のインフレ圧力で、市場の思惑通りに FRB が今後の引き締めに前向きならドル買いに振れやすい。そのため、日本の為替介入の効果は限定的となる可能性にも目を向けたい。

【日・日銀金融政策決定会合】(15-16 日開催予定)

15-16 日開催予定の日銀金融政策決定会合では 0.25%の利上げが予想されている。植田日銀総裁は入院で票決に参加できず、引き締め姿勢維持のメッセージは限定的で、円買いは想定内に。

【米・連邦公開市場委員会 (FOMC)】(16-17 日開催予定)

FRB は 16-17 日に FOMC を開催し、現行政策を維持する見通し。今後についてタカ派的な政策スタンスが示されれば、ドル買い要因となりそう。

債券市場

債券先物予想レンジ

127.00 円 ~ 128.50 円

長期国債利回り予想レンジ

2.500 % ~ 2.750 %

■先週の動き

先週 (6 月 8 日-12 日) の債券市場で長期債利回りは週初に上昇したものの、週末にかけて低下に転じた。日銀ウオッチャーを対象としたアンケートで、回答者の約 9 割が 6 月会合での利上げを予想するなど、利上げ観測が一段と高まる中、週初は売りが先行した。しかし、その後は利上げ観測が市場には織り込まれたことによる材料出尽くし感が広がり、ショートカバーを伴う買い戻しが優勢となった。

10 年債利回りは上昇後に低下。2.684%近辺で 8 日の取引を開始し、同日の終値は 2.723%近辺まで上昇した。その後は利上げ観測の織り込みが一巡したことによる買い戻しや、日銀による国債買入れ減額停止への思惑などを背景に債券需要が強まり、12 日にかけて 2.615%近辺まで低下し、この水準でこの週の取引を終えた。

債券先物は軟調ながら週末にかけて持ち直し。127 円 44 銭で 8 日の取引を開始し、同日は 127 円 16 銭まで下落したが、週後半は買い戻しが入り、12 日には高値 127 円 99 銭をつけ、127 円 94 銭でこの週の取引を終えた。

■今週の見通し

今週 (6 月 15 日-19 日) の債券市場で長期金利はもみ合いとなる見込み。日銀が 15-16 日の金融政策決定会合で、政策金利を現状の 0.75%から 1.00%へ引き上げるとともに、国債買入れ減額措置を 27 年 4 月以降停止する方向で調整していると伝えられており、16 日の結果公表が最大の焦点となる。

利上げ自体は市場には織り込まれているため、決定直後の反応は限定的とみられる。一方、国債買入れ減額の停止は市場機能や需給環境への配慮と受け止められる可能性があり、長期金利の上昇圧力を一定程度抑制する要因となりそう。ただし、内田副総裁が (植田総裁が入院中のため代理で会見予定) 次回以降の追加利上げに前向きな姿勢を示した場合には、長期債に売り圧力が強まる場面も想定される。市場では次回利上げ時期として 10 月または 12 月を予想する向きが多く、その見通しに変化が生じるかどうか注目される。

また、日銀が買入れ減額を停止したとしても、民間投資家が吸収すべき国債供給圧力は引き続き高水準にあるため、超長期ゾーンを中心とした需給悪化懸念が完全に払拭されるわけではない。加えて、16-17 日に開催される予定の米連邦公開市場委員会 (FOMC) で、政策金利は据え置きが予想されていることから、米金利動向も引き続き相場の手掛かり材料となろう。

債券先物は主に 127 円台前半から 128 円台前半での推移か。日銀会合の結果や内田副総裁会見を受けた市場の反応次第で振れ幅が大きくなる可能性があり、国債買入れ減額停止が市場で好感されれば、先物はやや強含む展開も想定される。

短期的に AI 関連主導の展開を想定だが、上値追いには慎重な対応も必要

先週の日経平均は反落。米 SOX 指数が 10% 超の急落となったことを受け、週前半は、AI・半導体関連株に対する過熱警戒感が一気に強まる展開となった。中東情勢の混迷状況が継続したほか、日銀の利上げ観測の強まりなども弱材料視される。ただ、週後半にかけては、中東情勢に改善の兆しが見られたことを受け、半導体関連株を中心に押し目買いの動きが優勢となった。つれて、日経平均も急速に下げ渋る動きとなっている。業種別では、週前半の下落が響いて AI 関連セクターが下落率上位、一方、不動産、食品など内需関連株が上昇率上位を占める。

先週は AI 関連セクターにおいても、半導体製造装置株の強い動きが目立った。東京エレクトロ、KOKUSAI、SCREEN、ディスコなどは 10% 強の上昇。業績上方修正を発表したマルマエも大幅高に。一方、投資判断格下げも観測された武蔵精密が 40% 超の大幅下落で、住友電工や古河電工などの電線株、日本電波などの水晶銘柄、日本ケミコンや堺化学などの MLCC 関連の下げも目立った。ほか、巴工業は業績・配当予想の上方修正で、カナモトは増配や自社株買いで買われる。富士急行はファンドの株式取得が思惑材料。半面、ANYCOLOR は減益ガイダンスで失望売り。ラクーン、ダブルスコープ、ビジョナルは決算が嫌気される。東宝、アイシン、かんぽ生命、住友鋳、神戸物産、ガス化、マイクロニクスなどにはアナリストの格上げや目標株価引き上げの動きが、SUMCO、航空電子、浜松ホトなどには投資判断格下げの動きが観測される。

先週末にスペース X が新規上場、順調なスタートを切り、米国株式市場全般にも安心感を強めさせた。また、米国とイランが和平合意に近づいており、状況次第では株式市場の一段高につながっていく余地も大きいだろう。その際には引き続き、AI 関連株が主導することになるとみられ、先週にかけて大きく調整した関連株などが短期的にはリバウンド狙いの対象とされてこよう。一方、スペース X のインデックスファンド採用など、銘柄リバランスが本格化した場合の影響などは、とりわけ、AI 関連株のリスク要因として残ろう。また、中東情勢の大幅な改善は、AI 関連から出遅れ銘柄への資金シフトにつながる契機ともなり得るため、これからの AI 関連株の上値追いには慎重な対応が必要と判断。

今週は日米で中銀イベントが予定されているが、日銀では利上げが決定され、FOMC では政策金利据え置きが想定されている。それぞれ、副総裁、FRB 新議長の見聞内容にサプライズは強まらないと考えられ、国内金融関連株などには目先出尽くし感が優勢となりそう。為替相場は円安に向かいそうだが、介入警戒感が強いと、自動車株などの支援材料にはつながりにくいだろう。短期的に AI 関連株への関心が再燃すれば、物色の矛先は向かいにくい、株主総会の接近はバリュー株などの手掛かり材料とされやすい。中では、日銀の利上げも手掛かりとなりそうなキャッシュリッチ銘柄などに関心を高めたい。なお、総じて調整一巡感が出ているだけに、スペース X の株価動向次第では宇宙関連銘柄に注目が向かう余地もあるだろう。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

| 上昇率上位銘柄 | | | | 下落率上位銘柄 | | | | 業種別騰落率 | |
|---------|------------------|----------|---------|---------|----------------|----------|---------|----------|---------|
| コード | 銘柄 | 終値 (円) | 騰落率 (%) | コード | 銘柄 | 終値 (円) | 騰落率 (%) | 上位セクター | 騰落率 (%) |
| 9010 | 富士急行 | 2,400.0 | 15.05 | 7220 | 武蔵精密工業 | 4,885.0 | -40.35 | 保険業 | 5.11 |
| 8035 | 東京エレクトロン | 68,000.0 | 14.38 | 3687 | フィックスターズ | 2,212.0 | -39.15 | 不動産業 | 3.50 |
| 8344 | 山形銀行 | 3,495.0 | 13.66 | 6619 | ダブル・スコープ | 207.0 | -32.35 | 食料品 | 3.47 |
| 2801 | キッコーマン | 1,629.0 | 13.36 | 3915 | テラスカイ | 2,461.0 | -27.08 | 小売業 | 3.00 |
| 4462 | 石原ケミカル | 3,175.0 | 13.07 | 5032 | ANYCOLOR | 2,265.0 | -22.72 | サービス業 | 2.07 |
| 262A | インターメスティック | 2,232.0 | 12.73 | 6584 | 三櫻工業 | 918.0 | -18.54 | 水産・農林業 | 1.80 |
| 9024 | 西武ホールディングス | 2,994.0 | 12.73 | 7095 | Macbee Planet | 979.0 | -18.14 | その他 金融業 | 1.43 |
| 3663 | セルシス | 1,900.0 | 11.37 | 6779 | 日本電波工業 | 3,815.0 | -18.13 | 下位セクター | 騰落率 (%) |
| 3093 | トレジャー・ファクトリー | 1,999.0 | 11.18 | 5805 | SWCC | 12,190.0 | -18.02 | 非鉄金属 | -10.11 |
| 6525 | KOKUSAI ELECTRIC | 8,875.0 | 10.63 | 268A | リガク・ホールディングス | 2,513.0 | -17.34 | 情報・通信業 | -5.52 |
| 2674 | ハードオフコーポレーション | 2,615.0 | 10.62 | 6616 | トレックス・セミコンダクター | 2,274.0 | -17.31 | ガラス・土石製品 | -4.90 |
| 7735 | SCREENホールディングス | 13,945.0 | 10.41 | 6754 | アンリツ | 3,882.0 | -17.21 | 電気機器 | -4.14 |
| 6264 | マルマエ | 2,315.0 | 10.24 | 6526 | ソシオネクスト | 2,265.0 | -17.05 | 金属製品 | -3.87 |
| 2871 | ニチレイ | 2,130.5 | 10.10 | 2929 | ファーマフーズ | 533.0 | -16.72 | 鉱業 | -3.49 |
| 6146 | ディスコ | 79,900.0 | 10.09 | 6997 | 日本ケミコン | 4,175.0 | -16.16 | 石油・石炭製品 | -3.37 |

高値奪回試す、直近下落の3分の2戻しクリア

■高値奪回が難航すればもみ合い長期化シナリオに留意

先週（6月8-12日）の日経平均は4週ぶりに下落した。1週間の下げ幅は568.08円（先々週258.62円高）だった。

先週の日経平均は調整色を強めた。11日には25日移動平均線を2.69%下回る62335.75円まで下落した後、終値は25日線上方に復帰。週末12日終値は25日線を上放れ、66000円台に戻した。

今週は3日ザラ場の史上最高値68786.49円奪回を試す展開が予想される。3日高値から11日安値まで6450.74円安と急落したが、11日安値から12日高値まで4730.19円高と、3分の2戻しをクリアしており、全値戻しに向かう展開が期待できよう。

先週11日にかけての下落局面では、下向きの5日線割れが5日続いたが、週末12日終値は5日線上方へ浮上して短期的な下値拡張局面を脱出。この間、25日線や13週線は右肩上がりキープし、中長期の上昇トレンド継続を示唆している。三役好転下の強気形状が続く一目均衡表では、先週末終値が転換線を上回り、短期調整完了を確認する形となった。

先週末終値が25日線を上回る銘柄は、プライム市場の全銘柄が31%（先々週末5日は43%）、日経平均採用225銘柄では107銘柄（同120銘柄）といずれも減少した。短中期投資家の含み損益悪化が続いており、相場全体では戻り売り圧力の強まりが予想される。

ボリンジャーバンド（25日ベース）では11日安値の -1σ 接近を直近ボトムに反転し、先週末は一時 $+1\sigma$ を越えて地合い回復を示唆。1 σ の値幅は週末12日終値で2302.63円（2703.24円）と縮小したが、絶対額は大きく、日々の値幅が1000円を超える不安定な相場が続きそうだ。

上値では、3日ザラ場の史上最高値68786.49円が短期的な目標として意識され、高値更新後は7万円への大台替わりに向けて騰勢をさらに強めよう。一方、高値奪回が難航すれば上値切り下げ型の2点天井形成が意識され、もみ合い長期化シナリオへの留意が必要となりそうだ。

一目均衡表（日経平均）



インキュリオン〈438A〉グロース

好決算受け一服も、決済プラットフォームの成長に期待

■決済プラットフォームを軸に事業拡大

金融・決済領域を中心に、カード発行基盤「Xard」や請求書カード払いプラットフォーム「Winvoice」、加盟店向け決済ソリューションなどを展開するフィンテック企業。クラウド型の決済プラットフォームを金融機関や事業会社へ提供し、ストック収益を積み上げるビジネスモデルが特徴。AIの普及を背景に、金融システムのモダン化需要が高まる中、SMBCグループとの協業拡大や BtoB 決済市場の開拓を成長ドライバーとしている。利用企業数は10万社を突破し、BtoB 決済取扱高(GTV)も前期比2倍へ拡大した。

■好決算後は調整も下げ止まりに期待

5月11日に、26年3月期通期決算を発表。売上高は95.05億円(前期比32.5%増)、営業利益は4.40億円(同3.1倍)と大幅な増収増益を達成し、営業利益は2月に修正を発表した業績予想

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 6/12 終値 | 724 円 |
| 目標株価 | 1000 円 |
| 業種 | 情報・通信 |

も上回って着地した。株価は決算発表翌日に急騰したが、27年3月期が先行投資を織り込んだ会社計画となったこともあり、その後、利益確定売りに押される形に。ただ、足下では5日線近辺で下げ止まりの動きもみられ、まずは25日・75日線の回復が次の焦点となりそうだ。当面は1000円台回復を目標としたい。

★リスク要因

ネットワーク障害発生など。

438A: 日足

25日線突破なるか注目。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|----------|--------|-------|------|------|--------|--------|----------|
| 2023/3単 | 2,955 | 90.4% | - | -416 | - | -1,072 | - |
| 2024/3連 | 5,836 | - | -528 | -598 | - | -557 | - |
| 2025/3連 | 7,174 | 22.9% | 143 | 107 | - | 74 | 1,652.00 |
| 2026/3連 | 9,505 | 32.5% | 440 | 336 | 214.0% | 444 | 22.81 |
| 2027/3連予 | 11,200 | 17.8% | 600 | 530 | 57.7% | 480 | 22.83 |

トレジャー・ファクトリー〈3093〉プライム

年初来高値を更新、新規出店は年間30~40店のペースで実施

■今期も増収増益見通し

総合リユースと専門リユースの10を超える業態を展開している。販路として、店頭に加えて、自社ECや自社オークションを強化し、売り切る力を高めている。26年2月期は売上高485.97億円(前期比15.1%増)、営業利益47.77億円(同18.4%増)で、2月に上方修正した業績予想を超えて着地した。主に既存店・前期出店の増収効果が牽引、免税販売も依然として増加した。また、累計で32店舗出店した。27年2月期通期の会社計画は、売上高543.04億円(前期比11.7%増)、営業利益50.65億円(同6.0%増)を見込む。

■依然としてリユース事業の成長を図る

株価は年初来高値を更新している。同社は中期経営計画を毎年4月にローリング方式で更新、29年2月期に売上高710億円、営業利益63億円を見込む。リアルの買取・販売拠点かつEC販

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 6/12 終値 | 1999 円 |
| 目標株価 | 2200 円 |
| 業種 | 小売 |

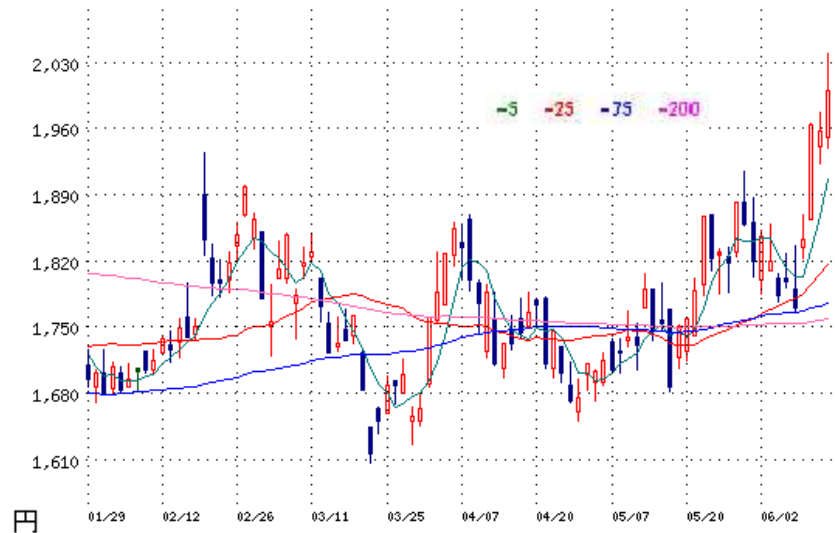
売の拠点ともなる店舗を連結で年間30~40店のペースで出店し、リユース事業の成長を図る。また、新規事業や海外市場での成長・投資も推進する。そのほか、配当性向は30%以上目標で、予想配当利回りは2%超で推移。堅調な既存店売上の増加を横目に、昨年高値を超える節目の2200円到達に期待する。

★リスク要因

新規出店の鈍化など。

3093:日足

直近年初来高値を更新。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|----------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 2023/2連 | 28,212 | 21.0% | 2,565 | 2,622 | 148.8% | 1,710 | 152.62 |
| 2024/2連 | 34,454 | 22.1% | 3,348 | 3,390 | 29.3% | 2,241 | 95.94 |
| 2025/2連 | 42,207 | 22.5% | 4,035 | 4,082 | 20.4% | 2,709 | 115.63 |
| 2026/2連 | 48,597 | 15.1% | 4,777 | 4,857 | 19.0% | 3,171 | 135.29 |
| 2027/2連予 | 54,304 | 11.7% | 5,065 | 5,059 | 4.2% | 3,395 | 144.83 |

物語コーポレーション〈3097〉プライム

「焼肉きんぐ」「丸源ラーメン」など展開、グループ店舗数は895店舗

■3拠点目の新工場が着工

ロードサイド中心に外食チェーンを展開する。「焼肉きんぐ」などの焼肉店が364店舗(直営233・FC等131)、「丸源ラーメン」などのラーメン店が246店舗(同138・108)、「ゆず庵」の寿司・しゃぶしゃぶ店が115店舗(同98・17)など、グループ合計で895店舗。海外は中華圏や東南アジア、米国で101店舗展開する(26年3月期)。同社は30年6月期にグループ店舗売上高を25年6月期の約2.5倍の3000億円にする目標を掲げており、この3月には27年2月の竣工を目指し、3拠点目となる新工場建設に着工した。稼働すれば、麺は現在の2倍、たれなどの液体調味料は2.2倍の生産が可能となり、売上拡大につながると見られる。

■第3四半期累計の営業利益は31.4%増

26年6月期第3四半期売上高は1121.03億円(前年同期比21.0%増)、営業利益は91.25億円(同31.4%増)。国内既存店の

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 6/12 終値 | 4730 円 |
| 目標株価 | 5450 円 |
| 業種 | 小売 |

増収と内外店舗数の増加が収益寄与した。26年6月期通期売上高は1471.59億円(前期比18.7%増)、営業利益は107.71億円(同16.5%増)予想。既存店売上高は、4月が前年同月比6.4%増、5月が同13.4%増と第4四半期も堅調。株価は下値の堅い展開だ。24年1月高値5450円を目標株価としたい。

★リスク要因

食材価格の上昇など。

3097:日足

やや上値が重いが下値は堅い。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|----------|---------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 2022/6連 | 73,277 | 14.5% | 2,873 | 6,167 | 44.6% | 3,727 | 308.56 |
| 2023/6連 | 92,274 | 25.9% | 7,202 | 7,179 | 16.4% | 4,693 | 129.48 |
| 2024/6連 | 107,156 | 16.1% | 8,165 | 8,582 | 19.5% | 5,639 | 158.15 |
| 2025/6連 | 123,921 | 15.6% | 9,242 | 9,035 | 5.3% | 6,157 | 163.09 |
| 2026/6連予 | 147,159 | 18.8% | 10,771 | 10,600 | 17.3% | 7,416 | 192.53 |

帝人〈3401〉プライム

中計開示で28年度の事業利益目標600億円、PBR0.8倍台・配当利回り3%で推移

■今期2桁増益見通し

日本初のレーヨン製造技術確立した老舗化学メーカー。26年3月期の売上収益は8731.90億円(前期比13.2%減)、事業利益は257.81億円(同6.6%減)で着地した。ヘルスケアは在宅医療機器のレンタル台数増加・医薬ライセンス対価収入等で増益、繊維・製品は堅調に推移。一方で、マテリアルやその他セグメントの減益等のほか、ヘルスケアにおける糖尿病治療剤の販売権等の減損処理を実施した。27年3月期通期計画は、売上収益8500億円(前期比2.7%減)、事業利益300億円(同16.4%増)を見込む。旭化成アドバンスとの経営統合効果が下期より発現してくる。

■中期経営計画を開示

株価は直近1600円付近でもみ合う展開。同社は、決算発表と同時に中期経営計画2026-2028を開示、28年度の事業利益目標600億円、ROE8%を掲げた。顧客起点型ビジネスを進めるた

| | |
|---------|----------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 6/12 終値 | 1638.5 円 |
| 目標株価 | 1900 円 |
| 業種 | 繊維製品 |

め、顧客領域別にセグメントを再編しており、アパレル&インダストリーズとヘルスケア&ライフソリューションズを成長ドライバーとして推進する。そのほか、27年度以降はDOEの導入を検討しており、PBR0.8倍台・PER7倍前後で推移する中、引き続き目標株価はPBR1倍前後付近の1900円とする。

★リスク要因

付加価値向上や収益力強化の遅れなど。

3401 日足

直近は1600円付近でもみ合う展開。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|-----------|-----------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 2023/3連 | 1,018,751 | 10.0% | 12,863 | 9,100 | -81.7% | -17,695 | - |
| 2024/3連I | 960,459 | - | -4,912 | -5,138 | - | -11,712 | - |
| 2025/3連I | 1,005,471 | 4.7% | -71,828 | -78,038 | - | 28,347 | 147.15 |
| 2026/3連I | 873,190 | -13.2% | -70,714 | -74,060 | - | -88,003 | - |
| 2027/3連I予 | 850,000 | -2.7% | 70,000 | - | - | 45,000 | 233.26 |

SOLIZE Holdings 〈5871〉スタンダード

持株会社体制が本格始動、収益性改善に注目

■持株会社体制へ移行し成長投資を加速

自動車メーカー向けを中心に、製品開発支援や3Dプリンター関連サービス、DXコンサルティングなどを手掛けるエンジニアリング企業。昨年7月に持株会社体制へ移行し、M&Aや新規事業への投資を加速する体制を構築した。AIやSDV(ソフトウェア・デファインド・ビークル)、デジタルリスク分野などへ事業領域を広げるほか、自動車以外の重工業やエネルギー分野、海外市場への展開も推進している。27年12月期に売上高400億円、33年12月期には1000億円を目標に掲げる。

■1Q売上高は過去最高を更新も通期計画は据え置き

5月14日大引け後に、26年12月期第1四半期決算を発表。売上高は74.07億円(前年同期比14.8%増)、営業利益は3.46億円(同2.1倍)となり、売上高は四半期ベースで過去最高を更新した。持株会社体制構築に伴う先行投資の一巡により収益性も

| | |
|---------|--------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 6/12 終値 | 1393 円 |
| 目標株価 | 1600 円 |
| 業種 | サービス |

改善した。一方、通期業績予想は据え置いたことから、決算直後の株価反応は限定的だった。その後は徐々に買いが優勢となり、足下では5日・25日線が上向きへ転じ、75日線も上抜けるなどテクニカル面は改善。次の焦点は200日線の突破となろう。目標株価は年初来高値突破となる1600円とする。

★リスク要因

原油価格上昇など。

5871:日足

5日・25日線が上向き。75日線を回復し、200日線突破が焦点。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|-----------|--------|-------|------|------|--------|------|--------|
| 2022/12連 | 17,827 | 12.4% | 680 | 711 | 48.1% | 566 | 118.08 |
| 2023/12連 | 20,081 | 12.6% | 885 | 876 | 23.2% | 580 | 125.99 |
| 2024/12連 | 22,713 | 13.1% | 455 | 416 | -52.5% | 254 | 50.16 |
| 2025/12連 | 25,779 | 13.5% | 85 | 82 | -80.3% | -36 | - |
| 2026/12連予 | 30,500 | 18.3% | 500 | 500 | 509.8% | 300 | 55.98 |

メイコー〈6787〉プライム

回路基板が主力、衛星通信向け事業が急拡大

■ベトナム事業拡大が奏功

回路基板が売上高の82%を占め、電子機器が18%(26年3月期)。回路基板のうち49%が車載向け、15%がスマートフォン・タブレット向け、14%が衛星通信向け、4%がAIサーバー向けとなっている(26年3月期)。特に伸びているのが衛星通信向け事業。同事業の売上高は、25年3月期は165億円だったが、26年3月期は282億円と急速に拡大。29年3月期には940億円を計画している。同社は売上先を公表していないが、米スペースX向けが急成長していると見られている。20年ほど前からベトナム事業を拡大しており、部品調達を中国から他へ移す動きを強める米テック企業のニーズを的確に捉えているようだ。

■営業利益は前期28%増・今期54%増予想

26年3月期売上高は2405.74億円(前期比16.3%増)、営業利益は245.72億円(同28.8%増)。売上高、利益ともに過去最高を更新した。衛星通信向けなどが収益寄与した。27年3月期通期

| | |
|---------|---------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 6/12 終値 | 30850 円 |
| 目標株価 | 40000 円 |
| 業種 | 電気機器 |

売上高は3200億円(前期比33.0%増)、営業利益は380億円(同54.6%増)予想。これまで投資を進めてきたベトナム第4工場とホアビン工場での生産開始を業績予想に織り込んだ。株価はやや調整場面だが業績は好調だ。大台40000円を目標株価とした。

★リスク要因

ベトナム新工場の稼働状況など。

6787:日足

利益確定売り一巡後の上昇に期待。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|----------|---------|-------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 2023/3連 | 167,276 | 10.6% | 9,575 | 11,212 | -21.6% | 8,847 | 338.94 |
| 2024/3連 | 179,458 | 7.3% | 11,660 | 14,267 | 27.2% | 11,310 | 428.70 |
| 2025/3連 | 206,806 | 15.2% | 19,083 | 18,763 | 31.5% | 14,924 | 569.47 |
| 2026/3連 | 240,574 | 16.3% | 24,572 | 26,488 | 41.2% | 19,782 | 758.59 |
| 2027/3連予 | 320,000 | 33.0% | 38,000 | 35,000 | 32.1% | 27,000 | 1,039.67 |

アズビル〈6845〉プライム

ストック型収益で安定成長、12期連続増配へ

■ビル・工場向け制御システムの大手

ビル向け空調・設備制御システムや工場・プラント向け計測・制御機器を手掛ける総合オートメーションメーカー。主力のビルディングオートメーション(BA)事業では、オフィスビルや商業施設、データセンター向けに空調制御システムを提供し、設計・施工から保守・改修まで一貫対応している。売上高の約5割をBA事業、約4割をアドバンスオートメーション(AA)事業が占める。特にBA事業は保守・改修需要を収益基盤とするストック型ビジネスで、安定した収益力が強みだ。

■再開発・データセンター需要追い風に最高益更新

26年3月期はライフサイエンス事業譲渡の影響で減収となったものの、BA事業の好調に加え、価格転嫁や採算改善が進み、営業利益は過去最高を更新した。再開発案件は2030年前後まで続く見通しで、加えて1990年代に建設された大型ビルの改修

| | |
|---------|----------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 6/12 終値 | 1543.5 円 |
| 目標株価 | 1900 円 |
| 業種 | 電気機器 |

需要も本格化している。生成 AI 普及に伴うデータセンター投資拡大や半導体関連需要の回復も追い風となろう。12期連続増配予定で配当利回りも3%超と魅力的であり、目標株価は上場来高値を上回る1900円とする。

★リスク要因

建設投資の減速、半導体設備投資の回復遅延など。

6845:日足

足下調整局面も、上昇トレンドは維持。



(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|-----------|---------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 2023/3連 | 278,406 | 8.5% | 31,251 | 32,140 | 8.9% | 22,602 | 168.27 |
| 2024/3連 | 290,938 | 4.5% | 36,841 | 38,999 | 21.3% | 30,207 | 228.39 |
| 2025/3連 | 300,378 | 3.2% | 41,486 | 42,170 | 8.1% | 40,955 | 77.96 |
| 2026/3連 | 298,930 | -0.5% | 47,304 | 48,760 | 15.6% | 38,565 | 75.76 |
| 2027/3連1予 | 315,000 | - | 49,700 | 50,000 | - | 35,300 | 69.48 |

東京エレクトロン〈8035〉プライム

世界4位の半導体製造装置メーカー、上期営業利益は33.1%増予想

■特許保有件数は世界半導体製造装置業界でトップ

世界4位の半導体製造装置メーカー(出所:TechInsights Inc.)。成膜、塗布・現像、エッチング、洗浄の4つの工程を中心に事業展開し、同社推計によると、塗布現像、ガスケミカルエッチング、拡散炉、バッチ成膜、プローバなどの装置で世界シェア1位、洗浄、プラズマエッチング、メタル成膜、ボンダーで2位となっている。特許保有件数は2万4996件で、世界半導体製造装置業界でトップ。地域別売上高は中国34%、韓国23%、台湾20%、日本10%、北米7%など(26年3月期)。

■AI用途半導体向け設備投資が伸長

26年3月期売上高は2兆4435.33億円(前期比0.5%増)、営業利益は6249.36億円(同10.4%減)。生成AI用途の半導体向け設備投資が顕著に伸長したが、中国の設備投資に一服感が見られた。研究開発費の増加により営業減益となったが、政策保

| | |
|---------|----------|
| 売買単位 | 100 株 |
| 6/12 終値 | 68000 円 |
| 目標株価 | 100000 円 |
| 業種 | 電気機器 |

有株の売却などが寄与し、純利益は2年連続で過去最高となった。通期予想は現段階では開示せず、上期業績予想のみ開示している。27年3月期上期売上高は1兆5700億円(前年同期比33.1%増)、営業利益は4310億円(同42.2%増)予想。株価は堅調だ。やや中期的だが100000円を目標株価としたい。

★リスク要因

AI投資の過剰感など。

8035:日足

上値指向の強い動き。



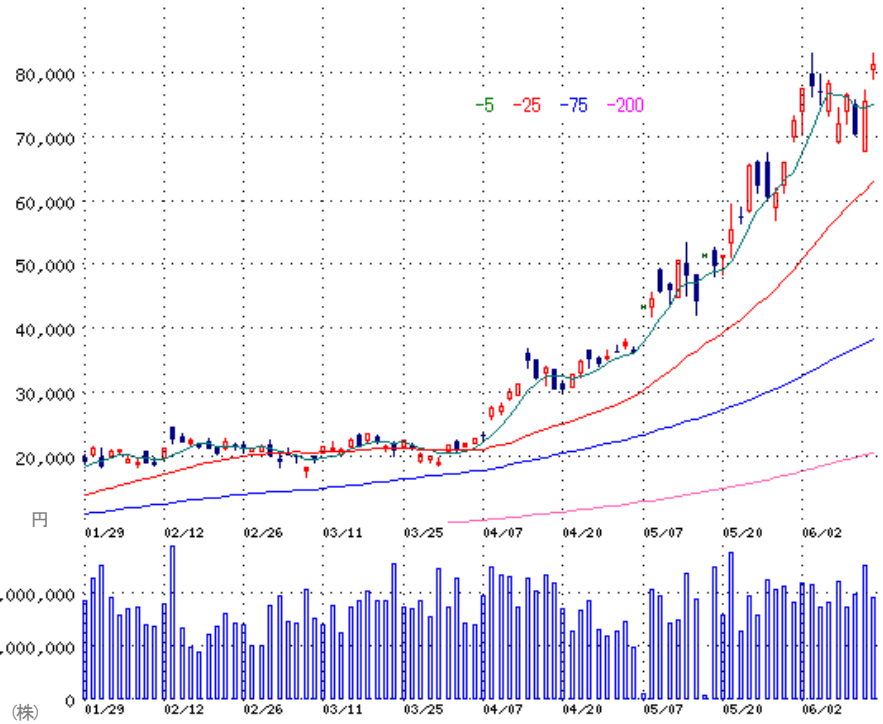
(百万円)

| 会計期 | 売上高 | 前期比 | 営業利益 | 経常利益 | 前期比 | 当期利益 | 1株益(円) |
|----------|-----------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 2023/3連 | 2,209,025 | 10.2% | 617,723 | 625,185 | 3.9% | 471,584 | 3023.46 |
| 2024/3連 | 1,830,527 | -17.1% | 456,263 | 463,185 | -25.9% | 363,963 | 783.75 |
| 2025/3連 | 2,431,568 | 32.8% | 697,319 | 707,727 | 52.8% | 544,133 | 1182.40 |
| 2026/3連 | 2,443,533 | 0.5% | 624,936 | 630,338 | -10.9% | 574,454 | 1254.57 |
| 2027/3連予 | 2,900,000 | 18.7% | 821,500 | 821,500 | 30.3% | 635,300 | 279.35 |

キオクシアホールディングス プライム<285A>/時価総額水準が国内トップに

先週は売り先行後切り返す動きとなった。前週末の米国市場でSOX指数が10%超の急落となり、週初は東京市場でも半導体・AI関連株に売りが波及する展開へ。ただその後、SMBC日興証券では投資判断「1」を継続し、目標株価を48000円から126000円にまで引き上げ。株価の切り返し材料につながった。現在の価格上昇についてさらに自信を深め、現状の市場期待値は依然として慎重な見方が多いと指摘。調整後営業利益は、27年3月期は4兆2000億円から7兆8200億円に、28年3月期は4兆8800億円から11兆8000億円にそれぞれ上方修正。

最近では10万円超の水準まで目標株価を引き上げる動きが目立っている。先週末も連動性の高い米サンディエスコが上昇、週初は一段の上値追いつなろう。一方、先週末時点で時価総額が国内トップにまで浮上、短期的な達成感につながる余地もあろう。



ANYCOLOR プライム<5032>/今期の減益見通しに失望売り強まる

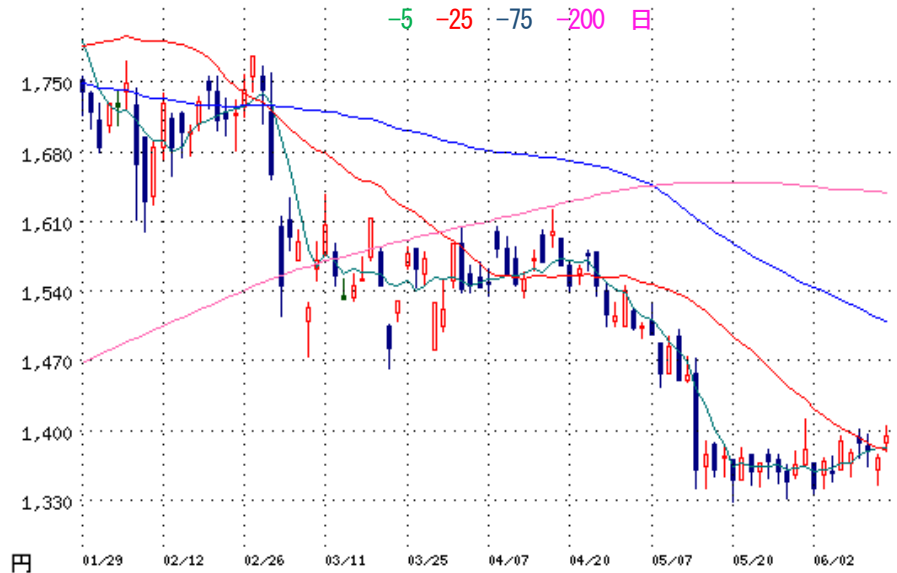
週後半にかけて急落。10日に26年4月期の決算を発表、営業利益は202億円で前期比23.9%増となり、3月11日に下方修正したレンジ上限水準での着地。一方、27年4月期は180-200億円のレンジ予想であり、上限水準でも減益の見通しとしている。中期計画の目標数値は240億円であったため、ネガティブなサプライズにつながっている。VTuberの起用頻度など従来以上に規律をもった運用を行う方針とし、人件費関連費用も増加のまよう。

バリュエーション面での割高感が残る中、減益見通しには失望感が強い。AI関連銘柄一極集中の地合いのなかで、資金が向かいにくいことも逆風となっている。PBRで約5倍の水準が許容できるような、再度の成長路線に回帰する蓋然性が高まるまで、本格的なリバウンドは期待しにくいとみる。下値支持線割り込んだ状況下、高水準の信用買い残も重しに。



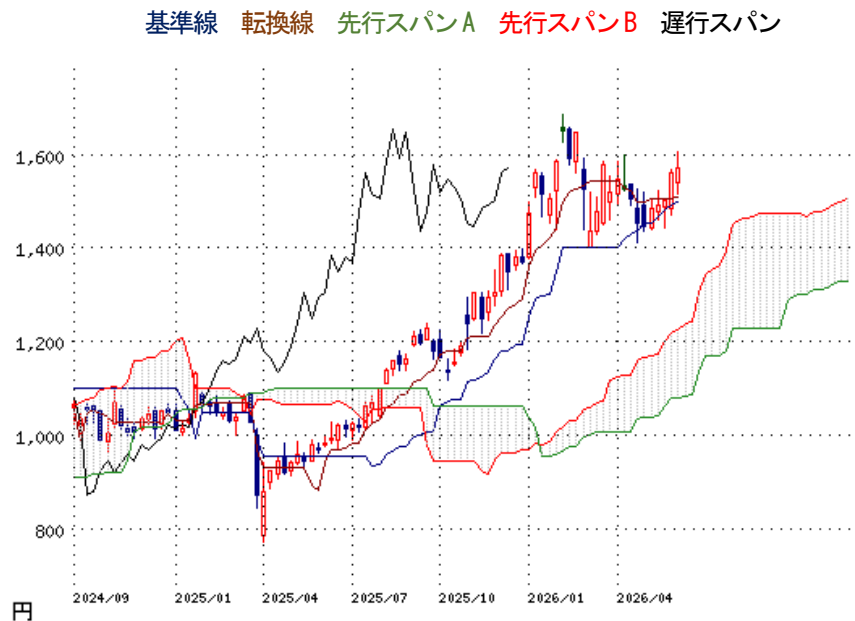
栗本鐵工所 東証プライム〈5602〉

日足ベースのローソク足。5月20日安値1329円をボトムに28日、6月2日、11日とザラ場安値を切り上げ、25日移動平均線とのマイナス乖離幅縮小を待つ形で下値固めが進んだ。先週末は終値が25日線上方に復帰するとともに、上向きの5日線が25日線を上回って下値拡張の終了を示唆した。25日線自体は下降中のため短期ゴールデンクロスには該当しないが、地合い改善の強いシグナルとみられ、底値圏からの反騰局面入りが期待できよう。



大和証券グループ本社 東証プライム〈8601〉

週足ベースの一目均衡表。先週のローソク足は2月最終週以来となる節目の1600円超えまで上ヒゲを伸ばして5本連続陽線で終了。三役好転下の強気形状にあって転換線が再び上向いたほか、転換線下の基準線も右肩上がり推移して上昇トレンド継続を示唆している。2月高値1686.5円から3月安値1400.5円までの下げ幅の倍返し1972.5円から節目の2000円を上値目標とした強気相場が予想される。



テーマ別分析: 人手不足時代の有望テーマ、省人化関連を探る

■AIとDXの融合が企業の生産性向上を後押し

少子高齢化を背景に人手不足が深刻化する中、企業では業務効率化や生産性向上に向けた省人化への投資が加速している。近年は生成AIの普及を背景に、AIを活用した業務改革への関心も高まっており、その前提となるDX投資の重要性が改めて認識されつつある。AIを既存業務へ円滑に導入するためには、基幹システムの刷新やクラウド化、データ活用基盤の整備などが不可欠であり、関連ソリューションへの需要拡大が期待される。人手不足への対応は企業の競争力を左右する重要な経営課題となっていることから、AIとDXを組み合わせた業務効率化・省人化の取り組みは今後も広がる可能性が高い。下表では、こうした流れの恩恵が期待される主な関連銘柄をまとめた。

■主な「業務効率化・省人化」関連銘柄

| コード | 銘柄略称 | 市場 | 6/12 株価 (円) | 概要 |
|------|----------------|------|-------------------|-----------------------|
| 3697 | SHIFT | プライム | 645.3 | ソフトウェア品質保証を自動化で支援。 |
| 3994 | マネーフォワード | プライム | 3868 | バックオフィス業務をクラウド化。 |
| 4431 | スマレジ | グロース | 2399 | POSシステムで店舗業務の効率化を支援。 |
| 4443 | Sansan | プライム | 1435 | 営業DX・契約DXサービスを展開。 |
| 4684 | オービック | プライム | 3862 | 基幹業務システムで企業DXを推進。 |
| 4812 | 電通総研 | プライム | 2020 | 企業向けDXコンサルティングを展開。 |
| 6224 | JRC | グロース | 1296 | 搬送設備の自動化・保守効率化を支援。 |
| 6324 | ハーモニックDS | プライム | 6550 | FA・ロボット向け精密減速機を供給。 |
| 6501 | 日立製作所 | プライム | 4657 | Lumadaで企業のDX・省人化を推進。 |
| 6506 | 安川電機 | プライム | 6335 | 産業用ロボットで自動化需要を取り込む。 |
| 6701 | 日本電気 | プライム | 3879 | AI・生体認証など業務効率化を支援。 |
| 6702 | 富士通 | プライム | 3260 | 企業・自治体向けDXを幅広く展開。 |
| 8056 | BIPROGY | プライム | 4356 | 業務システム構築で企業のDX推進を支援。 |
| 135A | VRAIN Solution | グロース | 3670 | 製造業向けAI外観検査・DXを展開。 |
| 215A | タイミー | グロース | 1207 | スキマバイトサービスで人手不足解消を支援。 |

出所：フィスコ作成

キャッシュリッチなプライム市場銘柄

■日銀の利上げや株主総会接近で関心向かう

今週の日銀金融政策決定会合では、政策金利の引き上げが予想されている。キャッシュリッチ銘柄への関心につながる可能性があり、時価総額に占めるキャッシュの割合が大きい銘柄、なおかつ、PBR 水準が低位にとどまっている銘柄をスクリーニングしている。株主総会の集中日が迫っていることで、キャッシュリッチ銘柄にはアクティビストファンドなどから資産効率の改善要求などが促される可能性も注目できる局面だ。ちなみに、今年の東証市場改革では、キャッシュリッチ銘柄に焦点が当たるとも想定されている。

スクリーニング要件としては、①ネットキャッシュ/時価総額が50%以上、②PBRが0.8倍未満、③今期純損益予想が黒字、④プライム市場上場、⑤金融関連セクター（銀行、証券、保険、その他金融）など除く。

■キャッシュリッチなプライム銘柄

| コード | 銘柄 | 市場 | 6/12株価 (円) | 時価総額 (億円) | ネットキャッ シュ/時価 総額(%) | PBR(倍) | 予想 1株利益 (円) |
|------|------------|------|---------------|--------------|--------------------------|--------|-------------------|
| 2153 | E・JHD | プライム | 1,589.0 | 292.0 | 68.9 | 0.73 | 188.14 |
| 3388 | 明治電機工業 | プライム | 2,038.0 | 260.2 | 56.8 | 0.69 | 239.97 |
| 4839 | WOWOW | プライム | 1,031.0 | 297.4 | 88.9 | 0.42 | 21.14 |
| 6349 | 小森コーポレーション | プライム | 1,454.0 | 777.6 | 56.2 | 0.63 | 135.69 |
| 6419 | マースグループHD | プライム | 2,981.0 | 677.3 | 57.2 | 0.64 | 363.18 |
| 6430 | ダイコク電機 | プライム | 2,086.0 | 309.1 | 60.1 | 0.61 | 212.91 |
| 6820 | アイコム | プライム | 2,993.0 | 444.5 | 50.8 | 0.59 | 215.99 |
| 7128 | ユニソルHD | プライム | 2,037.0 | 495.0 | 50.4 | 0.67 | 87.93 |
| 7239 | タチエス | プライム | 2,145.0 | 756.0 | 52.5 | 0.70 | 250.58 |
| 7261 | マツダ | プライム | 1,131.5 | 7148.9 | 63.1 | 0.37 | 142.68 |
| 7267 | 本田技研工業 | プライム | 1,411.0 | 63960.6 | 79.2 | 0.46 | 66.79 |
| 7270 | SUBARU | プライム | 2,474.0 | 17746.9 | 56.6 | 0.64 | 179.59 |
| 7628 | オーハシテクニカ | プライム | 1,060.0 | 273.3 | 55.3 | 0.67 | 82.00 |
| 9405 | 朝日放送グループHD | プライム | 795.0 | 332.6 | 50.5 | 0.40 | 64.64 |

出所：フィスコアプリより作成

トレンドフォロー戦略で注目の銘柄

■過熱感が限定的な銘柄をスクリーニング

東海東京インテリジェンス・ラボは、トレンドフォローの投資戦略に着目している。同証券では、物色は依然としてAI・半導体関連株へ資金が集中する傾向がみられており、株価モメンタムの強い銘柄への順張りが有効な局面と分析。東証プライム市場に上場する時価総額5,000億円以上の銘柄のうち、AI・半導体関連が多く属する電気機器・化学・精密機器等の業種を対象に、(1)6月3日終値が25日移動平均を上回り、かつ25日移動平均が75日移動平均を上回る、(2)25日移動平均からの乖離率が3-10%、RSI(14日、相対力指数)が50-70%(一般的に70%以上で買われ過ぎを示す)の範囲内となる銘柄をスクリーニングし、上昇トレンドにありながら過熱感が限定的な銘柄を抽出した。

「上昇トレンドかつ、過熱感が限定的な銘柄」(東海東京インテリジェンス・ラボ)

| コード | 銘柄名 QUICK略称 | 業種 | 株価 6/3終値 (円) | RSI (%) | 25日移動 平均価格 (円) | 75日移動 平均価格 (円) | 25日移動平均 かい離率 (%) |
|------|----------------|------|--------------------|------------|----------------------|----------------------|------------------------|
| 4182 | 三菱ガス | 化学 | 5,382.0 | 59.6 | 4,892.6 | 4,408.2 | 10.00 |
| 6506 | 安川電 | 電気機器 | 7,152.0 | 51.9 | 6,555.0 | 5,415.3 | 9.10 |
| 4042 | 東ソー | 化学 | 2,847.0 | 66.2 | 2,615.9 | 2,515.1 | 8.83 |
| 4188 | 三菱ケミG | 化学 | 1,099.0 | 56.8 | 1,010.7 | 1,004.2 | 8.73 |
| 6856 | 堀場製 | 電気機器 | 26,610.0 | 64.5 | 24,481.0 | 21,236.7 | 8.69 |
| 6645 | オムロン | 電気機器 | 6,192.0 | 55.9 | 5,704.4 | 5,096.8 | 8.54 |
| 7733 | オリンパス | 精密機器 | 1,852.0 | 53.5 | 1,723.0 | 1,580.2 | 7.48 |
| 4203 | 住友ベ | 化学 | 6,773.0 | 52.6 | 6,309.4 | 5,684.0 | 7.34 |
| 4063 | 信越化 | 化学 | 7,806.0 | 56.8 | 7,274.2 | 6,597.2 | 7.31 |
| 7276 | 小糸製 | 電気機器 | 2,855.0 | 55.5 | 2,694.0 | 2,630.3 | 5.97 |
| 3407 | 旭化成 | 化学 | 1,757.5 | 54.9 | 1,668.1 | 1,653.8 | 5.35 |
| 4021 | 日産化 | 化学 | 7,532.0 | 55.0 | 7,151.0 | 6,680.7 | 5.32 |
| 6758 | ソニーG | 電気機器 | 3,619.0 | 59.0 | 3,441.8 | 3,394.3 | 5.14 |
| 6861 | キーエンス | 電気機器 | 80,630.0 | 56.8 | 76,969.6 | 65,923.7 | 4.75 |
| 7747 | アサヒインテック | 精密機器 | 3,630.0 | 69.2 | 3,494.5 | 3,337.0 | 3.87 |

出所：QUICKより東海東京インテリジェンス・ラボ作成、かい離率順

信用買い残は7週連続の増加に

6月5日時点の2市場信用残高は、買い残高が3043億円増の6兆6958億円、売り残高が145億円減の8882億円。買い残高が7週連続の増加、売り残高は2週連続の減少となった。また、買い方の評価損益率は-0.36%から-0.68%、売り方の評価損益率は14.68%から24.03%に。なお、信用倍率は7.08倍から7.54倍となった。

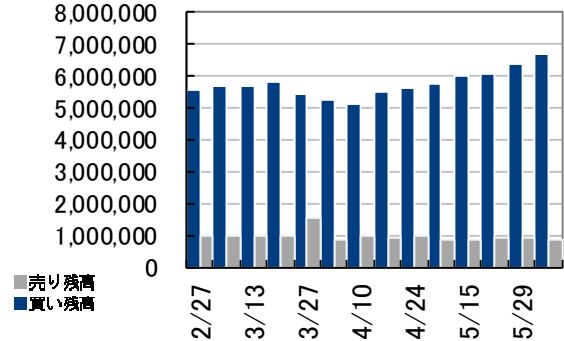
この週(6月1日-5日)の日経平均は前週末比258.62円高の66588.12円。週前半は、米国とイランの協議が停滞しているとの見方が広がって上値を抑えたが、ソフトバンクG<9984>をはじめ、人工知能(AI)関連株の上昇が下支えとなって堅調推移に。3日には前日比1667円高となって初の68000円台にまで上昇。週後半にかけては、過熱警戒感からの利益確定が優勢となり連日で下落。決算発表後に米ブロードコムが大幅下落となったことも重しに。中東情勢の交渉難航が意識されたこと、米国の大型IPOを控えて換金売り圧力への懸念が強まったことなども、それぞれ相場の下押し材料とされた。

個別では、クボタ<6326>の信用倍率は0.49倍と、前週の4.83倍から売り長の需給状況になった。トランプ米大統領が農業機械に対する関税を25%から15%に引き下げる布告に署名したと発表。これを受けて2日に急伸しており、この局面で買い方の利益確定売りに対して新規売りが積み上がったようだ。リガク<268A>の信用倍率は1.86倍と、前週から取り組みに厚みが増している。1日に売出価格が2738円に決定し、ディスカウント率は4%となった。2日~3日が申し込み期間となるなかで、引き受けを狙ったヘッジ対応の新規売りが積み上がった。また、キオクシアHD<285A>の急伸を支援材料に強い値動きをみせていたことで、買い方の利益確定も進んだようである。そのほか、物語コーポ<3097>は株価調整局面のなかで新規売りが積み上がった形である。

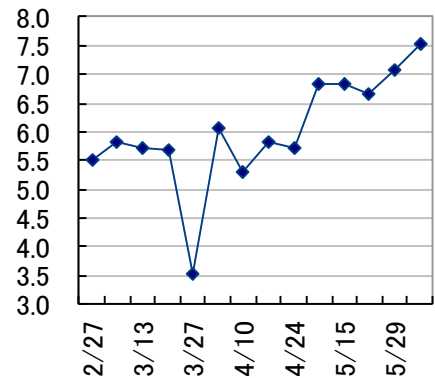
取組みが改善した銘柄

| コード | 市場 | 銘柄 | 6/12終値(円) | 信用買残(6/5:株) | 信用売残(6/5:株) | 信用倍率(6/5:倍) | 信用買残(5/29:株) | 信用売残(5/29:株) | 信用倍率(5/29:倍) |
|------|--------|----------|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 6326 | プライム | クボタ | 2,707.5 | 652,100 | 1,335,000 | 0.49 | 946,900 | 196,200 | 4.83 |
| 268A | プライム | リガク | 2,513.0 | 858,600 | 461,200 | 1.86 | 1,162,700 | 248,600 | 4.68 |
| 3097 | プライム | 物語コーポ | 4,730.0 | 200,400 | 383,100 | 0.52 | 223,600 | 201,400 | 1.11 |
| 9722 | プライム | 藤田観 | 1,757.0 | 230,100 | 1,057,900 | 0.22 | 231,600 | 597,300 | 0.39 |
| 3687 | プライム | フィックスターズ | 2,212.0 | 2,559,300 | 968,300 | 2.64 | 1,930,400 | 428,600 | 4.50 |
| 141A | グロース | トライアル | 2,789.0 | 2,183,900 | 521,300 | 4.19 | 2,162,400 | 305,700 | 7.07 |
| 3197 | プライム | すかいHD | 2,753.0 | 1,354,300 | 6,568,400 | 0.21 | 1,113,400 | 3,154,100 | 0.35 |
| 6146 | プライム | ディスコ | 79,900.0 | 657,100 | 230,500 | 2.85 | 903,100 | 190,000 | 4.75 |
| 9766 | プライム | コナミG | 18,950.0 | 87,700 | 85,400 | 1.03 | 125,200 | 75,000 | 1.67 |
| 2702 | スタンダード | マクドナルド | 7,500.0 | 195,700 | 1,006,800 | 0.19 | 152,800 | 514,600 | 0.30 |
| 8306 | プライム | 三菱UFJ | 3,162.0 | 27,544,000 | 2,839,700 | 9.70 | 32,463,000 | 2,196,100 | 14.78 |
| 6976 | プライム | 太陽誘電 | 15,725.0 | 1,825,600 | 1,330,300 | 1.37 | 2,003,500 | 979,100 | 2.05 |
| 3191 | プライム | ジョイ本田 | 2,249.0 | 113,700 | 2,225,300 | 0.05 | 96,000 | 1,332,400 | 0.07 |
| 7735 | プライム | スクリン | 13,945.0 | 807,700 | 160,500 | 5.03 | 1,069,100 | 148,900 | 7.18 |
| 7267 | プライム | ホンダ | 1,411.0 | 8,354,500 | 1,444,900 | 5.78 | 9,448,100 | 1,155,100 | 8.18 |

信用残高 金額ベース 単位:百万円



信用倍率 (倍)



コラム:EU 離脱後のポンド

英国の欧州連合(EU)離脱を決めた国民投票から間もなく10年。以来、短命政権による不安定な政策運営でポンドは低迷し続け、投票前の水準には戻っていません。来週の地方補選の結果によってはスターマー政権の退陣が見込まれ、ポンドへの逆風は厳しさを増しそうです。

2016年6月の国民投票でのEU離脱決定を受け、ポンド・ドル相場は1.50ドル前後から一気に1.30ドル近辺まで急落。その後も離脱交渉を巡る混乱やメイ、ジョンソン両政権下での政治的不透明感から17-19年は停滞と乱高下を繰り返しました。2020年には新型コロナウイルス禍で再び売り圧力が強まり、2022年にはトラス政権による大型減税策への市場不信から一時1.10ドル近辺まで落ち込みました。

短期的に1.40ドル台に持ち直す場面はありましたが、ポンドの買い戻しは続きません。24年の総選挙で発足した労働党政権は財政運営の正常化を進め、足元は1.34ドル前後まで回復。ブレグジットによって失った価値の一部は取り戻したものの、国民投票前の1.50ドルには遠く及ばず。この10年間は「主権を取り戻した英国」と「失われた市場の信認」の間で揺れ続けました。

市場の関心は、6月18日に実施されるメーカーフィールド選挙区の補選へ移っています。統一地方選で躍進したリフォームUKも候補を擁立。労働党候補として立候補するバーナム・マンチェスター市長が当選すれば、下院議員資格を得て党首選への出馬が現実味を帯びてきます。その場合、市場はスターマー政権の求心力低下だけでなく、新たな党首選による政治空白を意識し始める可能性があります。

もともと、政権交代論が浮上する背景には政治要因だけでなく、景気減速への懸念もあります。5月のサービス業PMIは節目の50を下回り、ILO失業率は5.0%へ上昇。賃金上昇率も鈍化しており、個人消費の勢いは後退。一方で、中東情勢の緊迫化を受けて7-9月期の家庭向けエネルギー料金は引き上げられる見通しです。景気減速と生活コスト上昇が同時進行する中、労働党政権への不満が広がりやすい環境となっています。

バーナム氏が補選、その後の党首選で新首相に選出された場合、当面のポンド相場にはマイナス材料となりそうです。市場は新首相の政策そのものよりも、政権運営の継続性を重視するためです。ブレグジット以降の英国政治における短命政権の傾向から、新政権の不透明感が強まれば、英国債とポンドには売り圧力がかかりやすいでしょう。ポンド・ドル相場が国民投票前に戻せないのは、政治への信認低下も強く影響していると言えそうです。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

| | | | |
|---|------------|---------------|-----|
| 1 | スケジュール | 経済カレンダー | 2-4 |
| | | 決算カレンダー | 5 |
| 2 | レーティング | 格上げ・買い推奨 | 6 |
| | | 格下げ・売り推奨 | 7 |
| 3 | 投資主体別売買動向 | 総括コメント | |
| | | 市場別データ | |
| 4 | 新規上場銘柄 | 結果とスケジュール | 8 |
| 5 | 一目均衡表雲抜け銘柄 | 雲上抜け銘柄 (プライム) | 9 |
| | | 雲下抜け銘柄 (プライム) | 10 |

6月15日~6月19日※全て日本時間で表示

| 日付 | 曜日 | 時間 | 内容 |
|-------|----|-------|--------------------------------------|
| 6月15日 | 月 | 13:30 | 第3次産業活動指数(4月) |
| | | 15:30 | 印・卸売物価指数(5月) |
| | | 18:00 | 欧・ユーロ圏鉱工業生産(4月) |
| | | 20:25 | ブ・週次景気動向調査 |
| | | 21:30 | 米・ニューヨーク連銀製造業景況指数(6月) |
| | | 22:15 | 米・鉱工業生産(5月) |
| | | 23:00 | 米・NAHB住宅市場指数(6月) |
| | | 27:00 | ブ・貿易収支(先週) |
| | | | 日銀政策委員会・金融政策決定会合(1日目) |
| | | | 印・貿易収支(5月) |
| | | | 印・失業率(5月) |
| | | | 中・資金調達総額(5月、15日までに) |
| | | | 中・マネーサプライ(5月、15日までに) |
| | | | 中・元建て新規貸出残高(5月、15日までに) |
| | | | G7首脳会議(17日まで) |
| | | | 欧・欧州連合(欧州)外相理事会 |
| | | | 欧・ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁が講演 |
| 6月16日 | 火 | 10:30 | 中・新築住宅価格(5月) |
| | | 10:30 | 中・中古住宅価格(5月) |
| | | 11:00 | 中・小売売上高(5月) |
| | | 11:00 | 中・鉱工業生産(5月) |
| | | 11:00 | 中・固定資産投資(都市部)(5月) |
| | | 11:00 | 中・調査失業率(5月) |
| | | 11:00 | 中・不動産投資(5月) |
| | | 11:00 | 中・住宅不動産販売(5月) |
| | | 13:30 | 豪・オーストラリア準備銀行(中央銀行)が政策金利発表 |
| | | 15:30 | 内田真一日銀副総裁が会見(植田総裁が入院中のため) |
| | | 18:00 | 独・ZEW期待指数(6月) |
| | | 20:00 | ブ・FGV消費者物価指数(IPC-S)(先週) |
| | | 20:00 | ブ・FGVインフレ率(IGP-10)(6月) |
| | | 21:00 | ブ・小売売上高(4月) |
| | | 21:30 | 米・輸入物価指数(5月) |
| | | 21:30 | 米・住宅着工件数(5月) |
| | | 21:30 | 米・住宅建設許可件数(5月) |
| | | | 日銀政策委員会・金融政策決定会合(2日目、終了後決定内容発表) |
| | | | GOが東証グロースに新規上場(公開価格2400円) |
| | | | 米・連邦公開市場委員会(FOMC)(17日まで) |
| 6月17日 | 水 | 08:50 | 貿易収支(5月) |
| | | 08:50 | 輸出(5月) |
| | | 08:50 | 輸入(5月) |
| | | 08:50 | コア機械受注(4月) |
| | | 14:00 | 全国地方銀行協会会長が会見 |
| | | 15:00 | 英・消費者物価コア指数(5月) |
| | | 16:15 | 訪日外客数(5月) |
| | | 17:00 | ブ・FIPE消費者物価指数(先週) |
| | | 18:00 | 欧・ユーロ圏消費者物価コア指数(5月) |
| | | 21:00 | ブ・経済活動(4月) |
| | | 21:30 | 米・小売売上高(5月) |
| | | 23:00 | 米・中古住宅販売成約指数(5月) |
| | | 23:00 | 米・企業在庫(4月) |
| | | 25:00 | 露・GDP(1-3月) |
| | | 27:00 | 米・連邦公開市場委員会(FOMC)が政策金利発表 |
| | | 30:30 | ブ・ブラジル中央銀行が政策金利(セリック金利)発表 |
| | | | 米・FOMC終了後、ウォーシュ連邦準備制度理事会(FRB)議長が記者会見 |

6月15日～6月19日※全て日本時間で表示

| 日付 | 曜日 | 時間 | 内容 |
|-------|-----------------------------------|-------|------------------------------------------------|
| 6月18日 | 木 | 07:45 | NZ・GDP(1-3月) |
| | | 08:50 | 対外・対内証券投資(先週) |
| | | 10:00 | 中・SWIFTグローバル支払いCNY(5月) |
| | | 10:10 | 国債買い入れオペ(残存1-3年、残存3-5年、残存5-10年、残存10-25年)(日本銀行) |
| | | 14:00 | 首都圏新築分譲マンション(5月) |
| | | 15:00 | 英・失業率(5月) |
| | | 15:00 | 英・ILO失業率(2-4月) |
| | | 15:15 | 全国銀行協会会長が会見 |
| | | 16:30 | スイス・中央銀行が政策金利発表 |
| | | 20:00 | 英・イングランド銀行(英中央銀行)が政策金利発表 |
| | | 21:30 | 米・新規失業保険申請件数(先週) |
| | | 21:30 | 米・フィラデルフィア連銀製造業景況指数(6月) |
| | | 23:00 | 米・景気先行指数(5月) |
| | | 29:00 | 米・対米証券投資(4月) |
| | | | 欧・欧首脳会議(19日まで) |
| | | 6月19日 | 金 |
| 08:30 | 全国CPI(5月) | | |
| 08:50 | 日銀政策委員会・金融政策決定会合議事要旨(4月27・28日分) | | |
| 15:00 | 英・小売売上高指数(5月) | | |
| 15:30 | 日本取引所グループの山道CEOが定例会見 | | |
| 19:30 | 露・ロシア中央銀行が政策金利発表 | | |
| 20:30 | 印・外貨準備高(先週) | | |
| 21:30 | 加・小売売上高(4月) | | |
| | 米・株式市場は祝日のため休場(奴隷解放記念日「ジュンティーンズ」) | | |
| | 中・株式市場は祝日のため休場(端午節) | | |
| | 香港・株式市場は祝日のため休場(端午節) | | |

■(日)日銀金融政策決定会合・終了後政策金利発表**6月16日(火)午後(時刻未定)発表予定**

(予想は、0.25%の利上げ) 15-16日開催予定の日銀金融政策決定会合では0.25%の利上げが予想される。ただし、植田総裁は入院のため票決に参加できず、引き締め姿勢維持のメッセージは限定的となる見込みで、円買いは想定内にとどまりそうだ。仮に据え置きとなればサプライズとなり、円売りが急進する可能性がある点には注意が必要。

■(米)5月小売売上高**6月17日(水)午後9時30分発表予定**

(予想は、前月比+0.4%) 参考となる4月実績は、前月比+0.5%と底堅い結果だった。関税拡大を前にした駆け込み購買の剥落が懸念される一方、雇用市場の堅調さが個人消費を下支えする構図が続いている。予想を上回る結果となれば、FRBの利下げ先送り観測が強まりドル買いに直結しやすく、FOMC発表前後の市場心理にも影響を与えそうだ。一方、下振れた場合は内需の鈍化を示すとしてドル売りが進む可能性があり、翌17日深夜のFOMC結果発表と合わせて相場の方向性を大きく左右するイベントとなる。

■(米)連邦公開市場委員会(FOMC)・終了後政策金利発表**6月17日(水)深夜3時発表予定**

(予想は、政策金利据え置き) 連邦準備制度理事会(FRB)は16-17日にFOMCを開催し、現行政策を維持する見通し。参考となる5月雇用統計が予想を大幅に上回る堅調な結果(+17.2万件)だったことに加え、物価指標がインフレの根強さを示しており、早期利下げ観測は後退している。会合後のウォーシュFRB議長会見(同日午前3時30分)でタカ派的な政策スタンスが示されれば、ドル買い要因となりそうだ。

■(英)イングランド銀行(BOE)政策金利発表・MPC議事要旨**6月18日(木)午後8時発表予定**

(予想は、政策金利据え置き) インフレ指標はBOEの目標(2.0%)を依然上回って推移しており、利下げの余地は限られる。17日発表の5月英CPI改定値も注目される中、政策金利据え置きが基本シナリオとみられる。ただし、MPC議事要旨で利下げ票が増加していた場合はポンド売りが強まりやすく、ユーロポンドへの波及を通じてユーロ円や円クロスにも影響が及ぶ可能性がある。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

| 日付 | コード | 銘柄 | 上場部名 | 時刻 |
|-------|-------------|-----------------|--------|----|
| 6月15日 | 1383 | ベルグアース | スタンダード | |
| | 1840 | 土屋ホールディングス | スタンダード | |
| | 184A | 学びエイド | グロース | |
| | 2315 | CAICA DIGITAL | スタンダード | |
| | 2345 | HODL1 | スタンダード | |
| | 2424 | プラス | スタンダード | |
| | 278A | Terra Drone | グロース | |
| | 2978 | ツクルバ | グロース | |
| | 3134 | Hamee | スタンダード | |
| | 3195 | ジェネレーションパス | スタンダード | |
| | 3415 | TOKYO BASE | プライム | |
| | 3565 | アセンテック | スタンダード | |
| | 3804 | システム ディ | スタンダード | |
| | 3823 | WHDC | スタンダード | |
| | 4380 | Mマート | グロース | |
| | 442A | クラシコ | グロース | |
| | 456A | HUMAN MADE | グロース | |
| | 4592 | サンバイオ | グロース | |
| | 4666 | パーク24 | プライム | |
| | 500A | TOボックス | スタンダード | |
| | 5136 | tripla | グロース | |
| | 5248 | テクノロジーズ | グロース | |
| | 556A | 犬猫生活 | グロース | |
| | 5971 | 共和工業所 | スタンダード | |
| | 6838 | 多摩川ホールディングス | スタンダード | |
| | 7034 | プロレド・パートナーズ | プライム | |
| | 7050 | フロンティアインターナショナル | グロース | |
| | 7110 | クラシコム | グロース | |
| | 7901 | マツモト | スタンダード | |
| | 8894 | REVOLUTION | スタンダード | |
| 9279 | ギフトホールディングス | プライム | | |
| 6月19日 | 3544 | サツラホールディングス | スタンダード | |
| | 6905 | コーセル | プライム | |

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

| 日付 | 証券会社 | コード | 社名 | レーティング | 目標株価(円) |
|-------|--------|------|---------|-----------------------|-------------|
| 6月8日 | UBS | 9602 | 東宝 | BUY新規 | 1590 |
| 6月9日 | JPモルガン | 2801 | キッコマン | NEUTRAL→OVERWEIGHT格上げ | 1550→1950 |
| | | 4612 | 日ペHD | OVERWEIGHT新規 | 1500 |
| | ゴールドマン | 6963 | ローム | 中立→買い格上げ | 3300→6500 |
| | 大和 | 4751 | サイバー | 2→1格上げ | 1660→1680 |
| | 東海東京 | 9007 | 小田急 | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 1800→1900 |
| 6月10日 | SMBC日興 | 7181 | かんぽ生命保険 | 2→1格上げ | 1727→1670 |
| | 東海東京 | 6465 | ホシザキ | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 5930→6040 |
| 6月11日 | 大和 | 8233 | 高島屋 | 3→2格上げ | 2000→2300 |
| | | 8801 | 三井不 | 2→1格上げ | 1940→1800 |
| | 東海東京 | 6226 | 守谷輸送機工業 | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 2750→2900 |
| | | 8801 | 三井不 | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 2300→2400 |
| 6月12日 | SMBC日興 | 4919 | ミルボン | 2→1格上げ | 3000→3800 |
| | | 5232 | 住友大阪 | 2→1格上げ | 4700→6400 |
| | | 6178 | 日本郵政 | 2→1格上げ | 2100→2700 |
| | | 7956 | ビジョン | 2→1格上げ | 1800→2400 |
| | UBS | 2801 | キッコマン | NEUTRAL→BUY格上げ | 1590→2000 |
| | みずほ | 5802 | 住友電工 | 中立→買い格上げ | 10500→12500 |
| | | 8725 | MS&AD | 中立→買い格上げ | 3860→5390 |
| | 大和 | 1332 | ニッスイ | 2→1格上げ | 1500→1800 |
| | 東海東京 | 3002 | ゲンゼ | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 4000→4400 |
| | | 6976 | 太陽誘電 | NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ | 4230→19900 |
| | 野村 | 4182 | 菱瓦斯化 | NEUTRAL→BUY格上げ | 4200→6000 |

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

| 日付 | 証券会社 | コード | 社名 | レーティング | 目標株価（円） |
|-------|--------|------|---------|----------------------------|-------------|
| 6月8日 | JPモルガン | 4922 | コーセーHD | NEUTRAL→UNDERWEIGHT格下げ | 6100→4700 |
| | UBS | 2875 | 東洋水産 | BUY→NEUTRAL格下げ | 12700→10400 |
| | シティ | 2371 | カカクコム | 1→2格下げ | 3100→3400 |
| | みずほ | 3436 | SUMCO | 買い→中立格下げ | 1700→4500 |
| | | 4063 | 信越化 | 買い→中立格下げ | 5200→7700 |
| | 東海東京 | 9729 | トーカイ | OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ | 2990→2360 |
| 6月9日 | ゴールドマン | 6807 | 航空電子 | 中立→売り格下げ | 2300→2000 |
| | | 6988 | 日東電 | 買い→中立格下げ | 4200→3000 |
| | みずほ | 2267 | ヤクルト | 中立→UNDERPERFORM格下げ | 2600→2100 |
| | | 7220 | 武蔵精密 | 買い→中立格下げ | 3900→8200 |
| | 東海東京 | 9008 | 京王 | OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ | 4500→800 |
| 6月10日 | SMBC日興 | 3861 | 王子HD | 1→2格下げ | 1180→800 |
| | モルガン | 3436 | SUMCO | EQUALWEIGHT→UNDERWEIGHT格下げ | 1850→3000 |
| | 野村 | 5838 | 楽天銀行 | BUY→NEUTRAL格下げ | 8700→5500 |
| | | 6965 | 浜松ホトニク | NEUTRAL→REDUCE格下げ | 1700→1900 |
| 6月11日 | SMBC日興 | 2875 | 東洋水産 | 1→2格下げ | 13000→10600 |
| 6月12日 | みずほ | 8630 | SOMPO | 買い→中立格下げ | 6510→6200 |
| | | 8795 | T&DHD | 買い→中立格下げ | 4580→4730 |
| | 岡三 | 4902 | コニカミノルタ | 強気→中立格下げ | 610→650 |
| | 大和 | 9039 | サカイ引越 | 2→3格下げ | 3100→2900 |

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

| 銘柄名 | コード | 市場 | 上場日 | 仮条件 (円) | 公募株数 (株) | 売出株数 (株) | 公募価格 (円) | 初値 (円) | 主幹事 | 6/12終値 (円) |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------|------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------------|---------------|
| GO | 581A | グロース | 6/16 | 2,350~2,400 | 0 | 40,482,900 | 2,400 | - | 野村、ゴールドマン、BofA、大和 | - |
| | 事業内容: 配車システム提供等モビリティ関連事業 | | | | | | | | | |
| LiNKX | 584A | グロース | 6/23 | 730~790 | 189,100 | 1,498,700 | 790 | - | 野村 | - |
| | 事業内容: 金融分野を中心とした基幹システム等のモダナイゼーション事業 | | | | | | | | | |
| ネイス | 589A | グロース | 6/30 | 1,290~1,320 | 100,000 | 1,050,000 | 6/19 | - | 岡三 | - |
| | 事業内容: 子ども向け体操教室の運営(直営及びフランチャイズ方式)及び、児童発達支援・放課後等デイサービス施設の運営(直営方式) | | | | | | | | | |
| チャットプラス | 598A | グロース | 7/15 | 6/25 | 650,000 | 500,000 | 7/6 | - | 丸三 | - |
| | 事業内容: 問い合わせ対応を支援するチャットボットシステム(「ChatPlus」、「AI AgentPlus」)及びFAQシステム(「FAQPlus」)の開発・提供 | | | | | | | | | |

雲上抜け銘柄(プライム)

| コード | 銘柄 | 終値 (円) | 先行スパンA (円) | 先行スパンB (円) | コード | 銘柄 | 終値 (円) | 先行スパンA (円) | 先行スパンB (円) |
|------|---------|-----------|---------------|---------------|------|---------|-----------|---------------|---------------|
| 1414 | ショーボンド | 1270 | 1253 | 1234.5 | 2222 | 寿スピリッツ | 2343 | 1919.25 | 2155 |
| 2292 | S FOODS | 2625 | 2624 | 2510 | 2501 | サッポロHD | 1674 | 1528.5 | 1559 |
| 2613 | Jオイル | 2075 | 2011 | 2004.5 | 2801 | キッコマン | 1629 | 1335.5 | 1494.5 |
| 2809 | キューピー | 4184 | 4054.25 | 3617 | 3086 | Jフロント | 2395 | 2221 | 2053.5 |
| 3231 | 野村不HD | 939 | 907.5 | 857 | 3608 | TSI HD | 1159 | 1059.5 | 1145.5 |
| 4051 | GMO-FG | 6000 | 5590 | 5987.5 | 4202 | ダイセル | 1299 | 1296.25 | 1239 |
| 4718 | 早稲アカ | 2501 | 2494 | 2379 | 4912 | ライオン | 1672 | 1595.5 | 1667 |
| 5110 | 住友ゴム | 2128 | 2101.25 | 1901 | 6345 | アイチ | 1350 | 1338.75 | 1347 |
| 7504 | 高速 | 2984 | 2870.5 | 2433 | 7581 | サイゼリヤ | 5340 | 5338.75 | 4825 |
| 7616 | コロワイド | 1843 | 1783.5 | 1822 | 7911 | TOPPAN | 4507 | 4441.5 | 4308.5 |
| 7943 | ニチハ | 2991 | 2942.5 | 2945 | 7979 | 松風 | 2063 | 1897.75 | 2043 |
| 8079 | 正栄食 | 4155 | 4078.75 | 4047.5 | 8095 | アステナHD | 494 | 485 | 463.5 |
| 8410 | セブン銀行 | 290 | 289.5 | 279.5 | 8424 | 芙蓉リース | 4284 | 4187.75 | 3969.5 |
| 8708 | アイザワ証G | 1473 | 1322 | 1472.5 | 8771 | Eギャランティ | 1705 | 1674.5 | 1650.5 |
| 9010 | 富士急 | 2400 | 2276.5 | 2306 | 9507 | 四国電力 | 1469 | 1420.25 | 1279.5 |
| 9706 | 日空ビル | 4701 | 4673.5 | 4431 | | | | | |

雲下抜け銘柄(プライム)

| コード | 銘柄 | 終値 (円) | 先行スパンA (円) | 先行スパンB (円) | コード | 銘柄 | 終値 (円) | 先行スパンA (円) | 先行スパンB (円) |
|------|----------|-----------|---------------|---------------|------|---------|-----------|---------------|---------------|
| 1964 | 中外炉 | 3950 | 4466.25 | 3971.5 | 2198 | アイケイケイ | 750 | 777.75 | 790 |
| 2492 | インフォMT | 364 | 364.5 | 365 | 3636 | 三菱総研 | 4560 | 4913.75 | 4615 |
| 3649 | ファインデクス | 781 | 887.5 | 804.5 | 3854 | アイル | 2217 | 2546.25 | 2487.5 |
| 3984 | ユーザーローカル | 1753 | 1976 | 1756 | 4527 | ロート薬 | 2324 | 2393.75 | 2469 |
| 4662 | フォーカス | 1546 | 1849.75 | 1580.5 | 4996 | クミアイ化 | 725 | 731.25 | 768 |
| 5461 | 中部鋼鉄 | 2080 | 2086.25 | 2125 | 6464 | ツバキナカシマ | 363 | 374.5 | 406 |
| 6526 | ソシオネクスト | 2265 | 2761 | 2362.5 | 6533 | オーケストラ | 962 | 1028.5 | 968 |
| 6619 | WSCOPE | 207 | 209 | 223 | 6702 | 富士通 | 3260 | 3886.75 | 3422.5 |
| 6814 | 古野電気 | 5630 | 7648.75 | 5911.5 | 6986 | 双葉電子 | 581 | 630.25 | 598.5 |
| 7203 | トヨタ自 | 2776 | 3070.75 | 2833 | 7267 | ホンダ | 1411 | 1554 | 1443 |
| 7283 | 愛三工 | 1809 | 2045.75 | 1922.5 | 7769 | リズム | 3525 | 3537.5 | 3717.5 |
| 9020 | JR東 | 3404 | 3745.75 | 3413.5 | 9621 | 建設技研 | 2641 | 2946.75 | 2659.5 |
| 9627 | アインHD | 5674 | 6565.25 | 5727.5 | 9755 | 応用地質 | 2752 | 2883.5 | 2791.5 |

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。
＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リートのリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認ください重要な事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

| | | | | | |
|---------------|-----------------------------|------------------|--------------|-----------------------------|------------------|
| 本店営業部 | 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8 | TEL:082-245-5000 | 三次支店 | 〒728-0012 三次市十日市中2-13-26 | TEL:0824-62-3121 |
| 福山支店 | 〒720-0812 福山市霞町1-1-1 | TEL:084-922-1321 | 可部支店 | 〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21 | TEL:082-815-2600 |
| 岡山営業所 | 〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3 | TEL:086-222-1561 | 広島西支店 | 〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4 | TEL:082-277-2700 |
| 府中支店 | 〒726-0004 府中市府川町335-1 | TEL:0847-45-8500 | 東広島支店 | 〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7 | TEL:082-422-3621 |
| 尾道支店 | 〒722-0036 尾道市東御所町1-15 | TEL:0848-23-8121 | 廿日市支店 | 〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34 | TEL:0829-31-6611 |
| 尾道支店 今治営業所 | 〒794-0022 今治市室屋町1-1-13 | TEL:0898-55-8280 | 岩国支店 | 〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7 | TEL:0827-22-3161 |
| 尾道支店 因島営業所 | 〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3 | TEL:0845-22-2291 | 徳山支店 | 〒745-0034 周南市御幸通2-15 | TEL:0834-31-5350 |
| 三原支店 | 〒723-0014 三原市城町1-25-1 | TEL:0848-67-6681 | 徳山支店 萩営業所 | 〒758-0027 萩市吉田町51-11 | TEL:0838-25-2121 |
| 呉支店 | 〒737-0045 呉市本通3-5-4 | TEL:0823-21-6401 | 宇部支店 | 〒755-0029 宇部市新天町2-3-3ポスティビル | TEL:0836-31-1105 |

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>